

株式会社 日伝

NICHIDEN

2027年３月期
第２四半期決算説明会

2026年11月12日（木）

証券コード
9902

目次

1 連結決算ハイライト

2 2027年３月期　第２四半期決算概要

3 中期経営計画　『New Dedication 2026』　進捗

4 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

5 株主還元

© 2026 NICHIDEN Corporation

1

連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

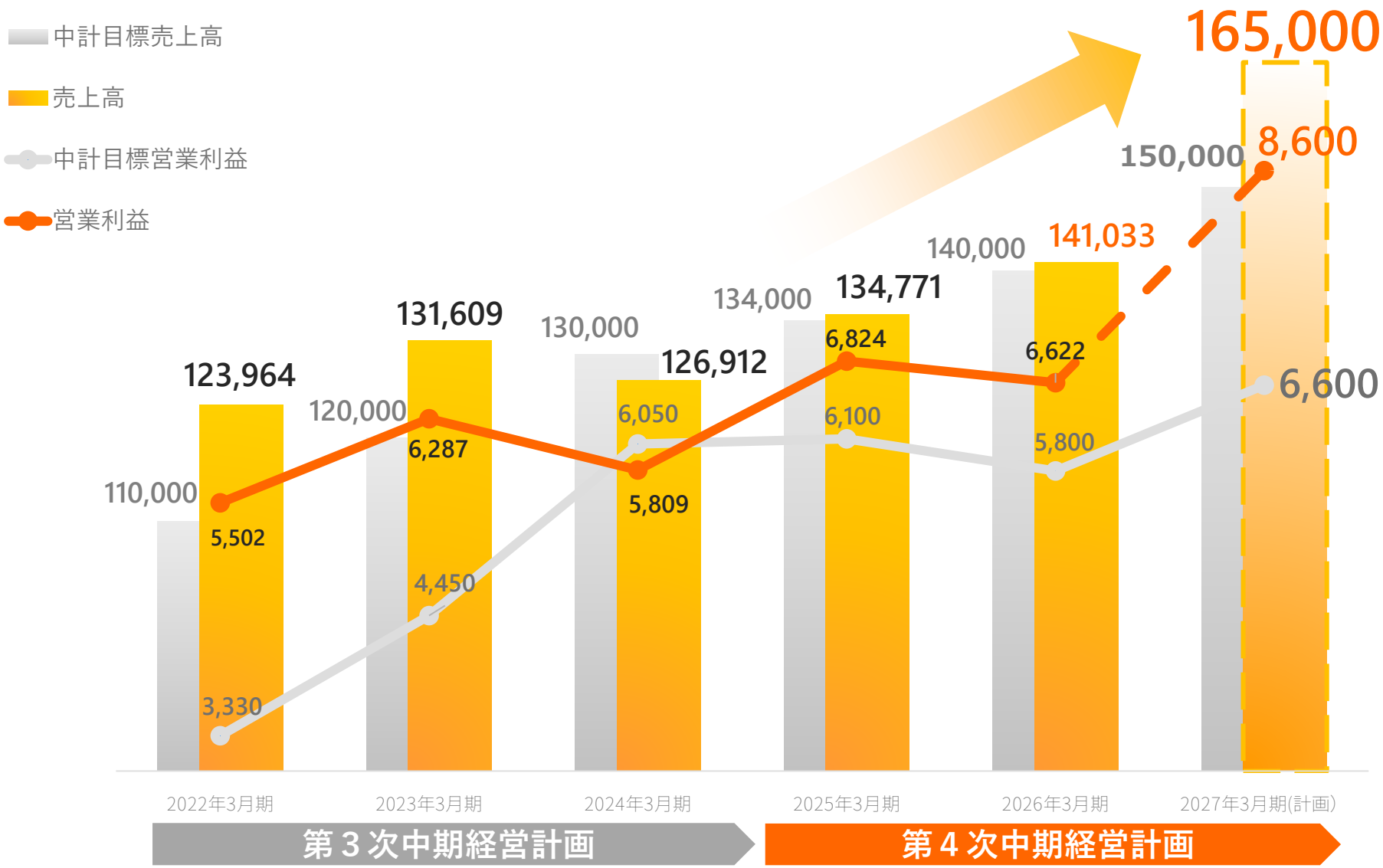
2027年３月期 第２四半期　連結業績サマリー

- 売上高・営業利益・経常利益・中間純利益のすべてで、前年同期を大きく上回りました。
- 特別利益（固定資産売却益696百万円、投資有価証券売却益568百万円）1,264百万円を計上しております。

売上高	82,227 百万円	前年同期比	＋22.2%
営業利益	4,436 百万円	前年同期比	＋58.2%
経常利益	4,765 百万円	前年同期比	＋46.6%
中間純利益	4,017 百万円	前年同期比	＋83.4%

© 2026 NICHIDEN Corporation

中期経営計画　連結業績推移（実績・計画）



2027年3月期 計画（11/5修正）

売上高（中計目標 150,000）

165,000百万円

2027年3月期 計画（11/5修正）

営業利益（中計目標 6,600）

8,600百万円

（単位：百万円）

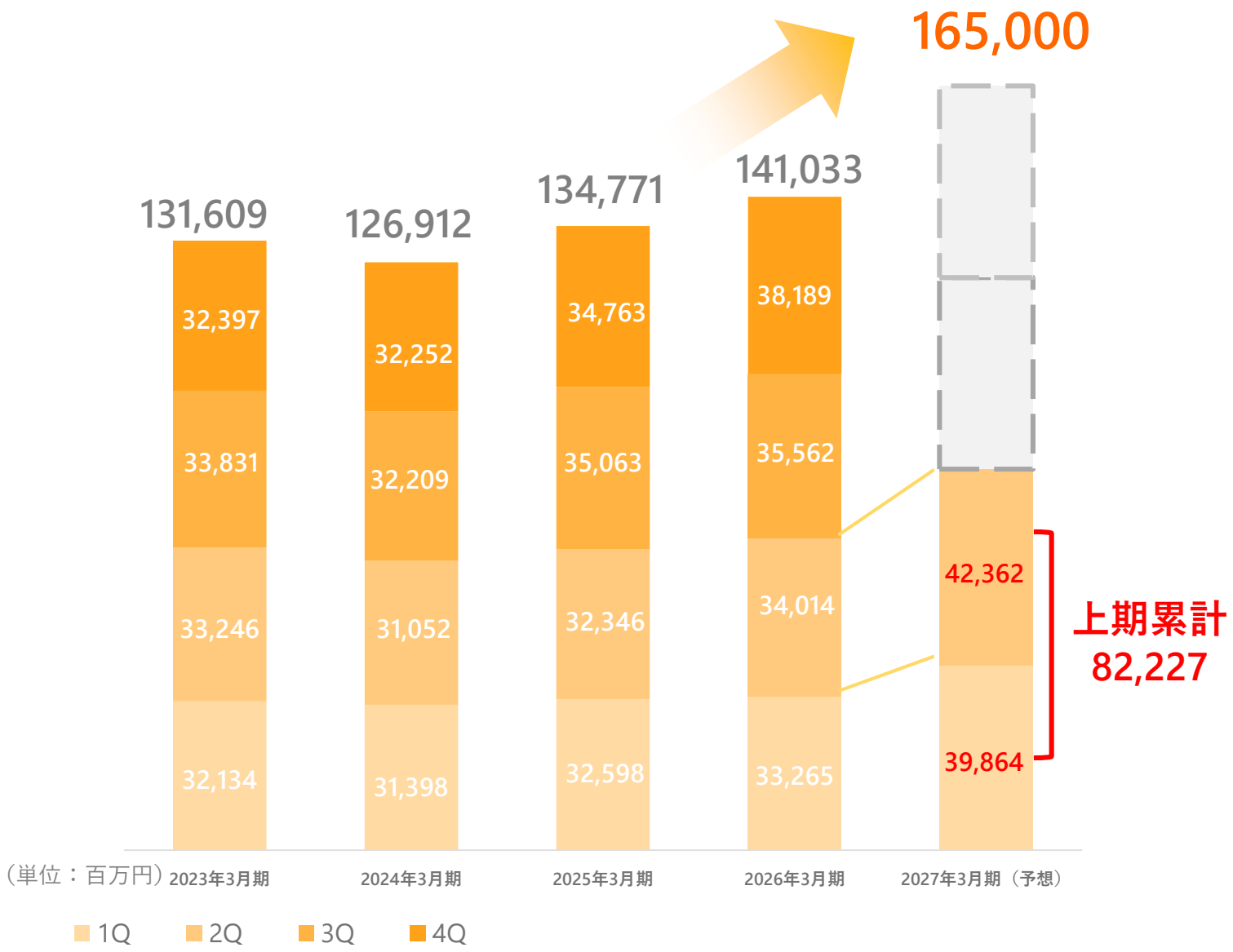
© 2026 NICHIDEN Corporation

2

2027年3月期　第２四半期決算概要

Q2 Financial Results

2027年３月期 第２四半期 売上高（４～９月）



2026年3月期売上高　141,033百万円

業績予想を上方修正

当初予想
150,000百万円

前回予想（7/31）
160,000百万円

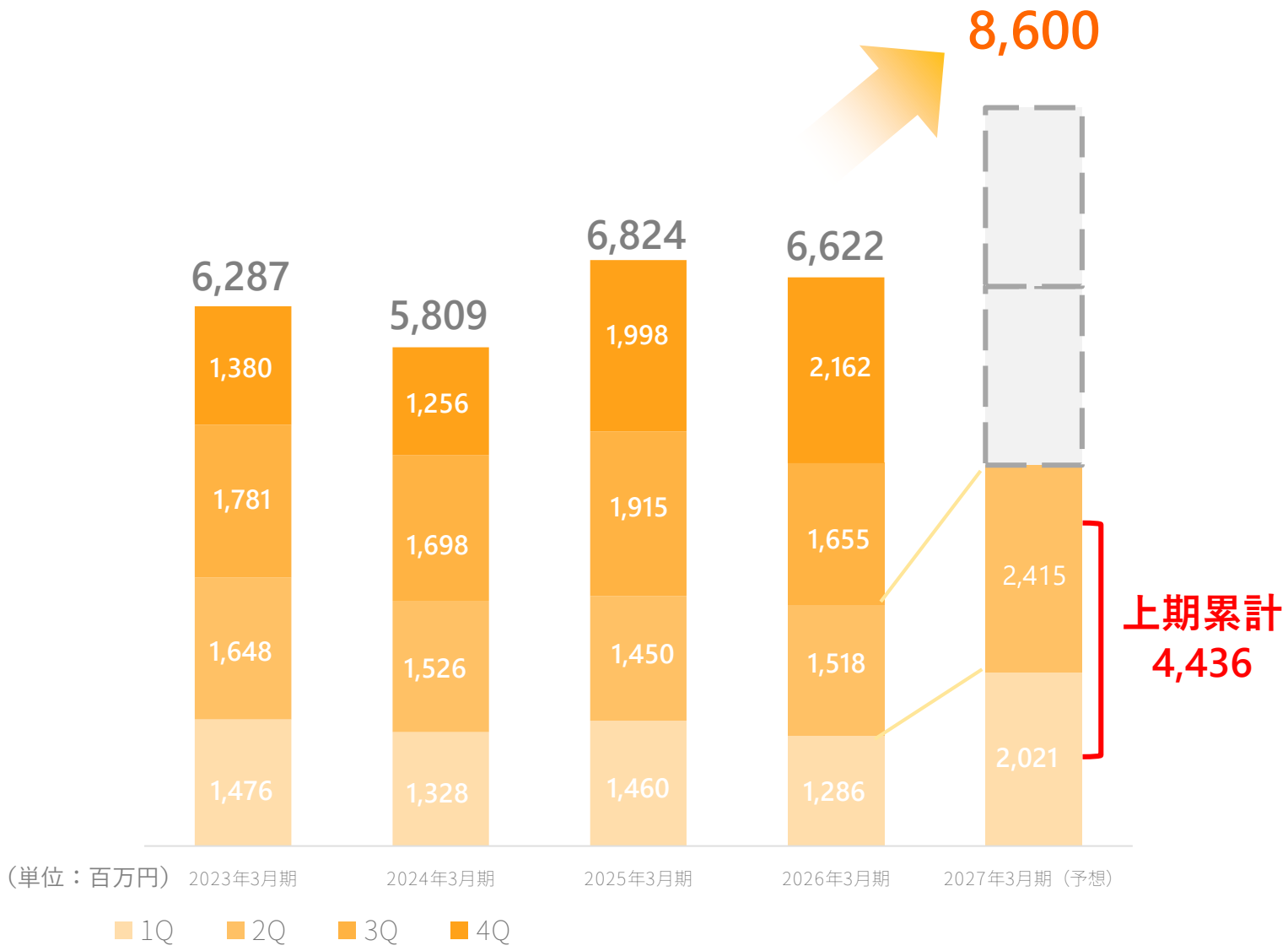
今回予想（11/5）
165,000百万円

上期実績 **82,227百万円**（予想比＋2.1%）

過去最高の売上高を
大幅更新見込み

© 2026 NICHIDEN Corporation

2027年３月期 第２四半期 営業利益（４～９月）



2026年3月期営業利益　6,622百万円

営業利益も上方修正

当初予想
7,300百万円

前回予想（7/31）
8,400百万円

今回予想（11/5）
8,600百万円

上期実績 **4,436百万円**（予想比＋5.6%）

過去最高益を
大幅に更新予定

© 2026 NICHIDEN Corporation

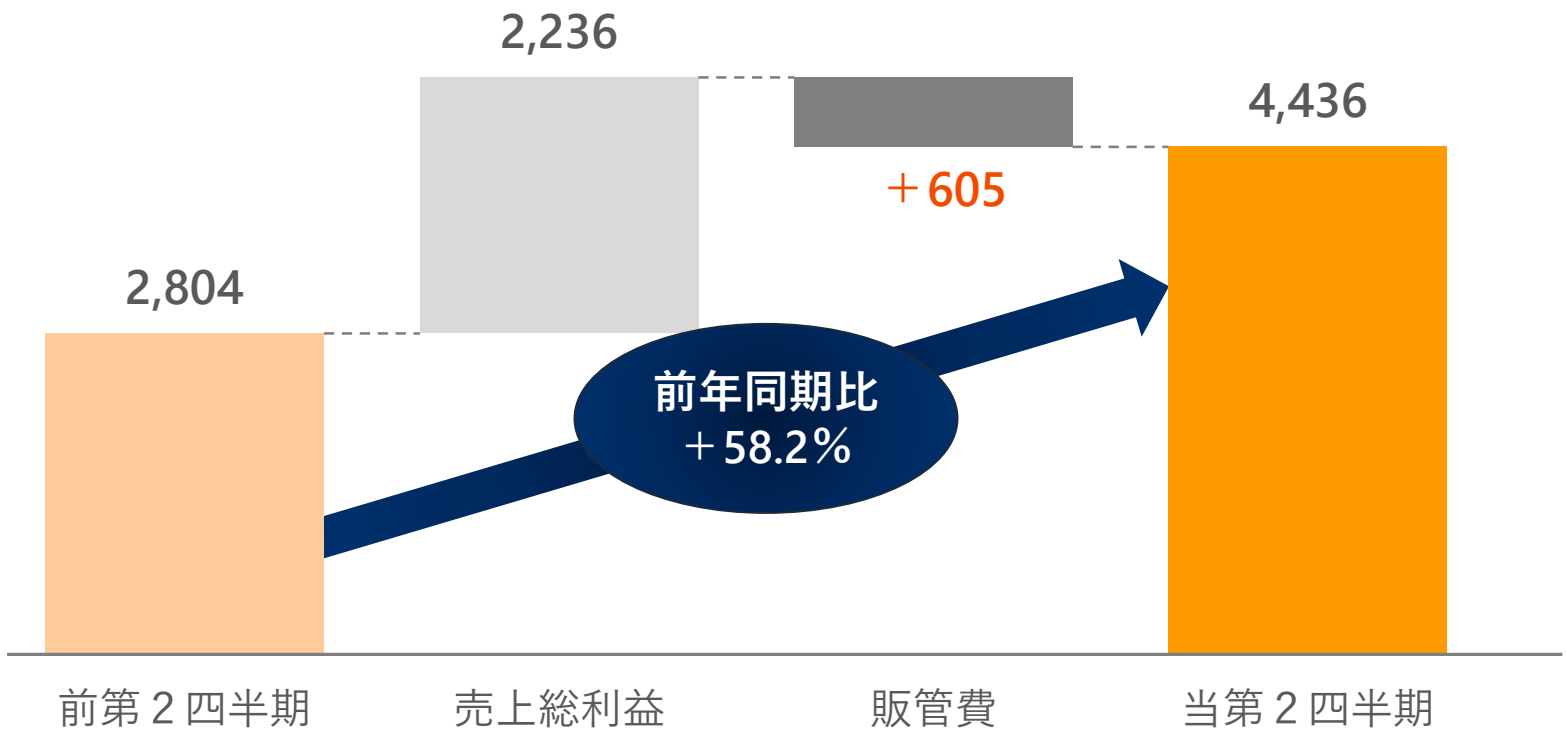
2027年３月期 第２四半期　連結業績　前年同期比

（単位：百万円）

	前第２四半期	当第２四半期	前年同期比	
			金額	増減率
売上高	67,280	**82,227**	＋14,947	＋22.2%
売上総利益	10,144	**12,381**	＋2,236	＋22.0%
販管費	7,339	**7,944**	＋605	＋8.2%
営業利益	2,804	**4,436**	＋1,631	＋58.2%
経常利益	3,250	**4,765**	＋1,514	＋46.6%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,190	**4,017**	＋1,827	＋83.4%

© 2026 NICHIDEN Corporation

2027年３月期 第２四半期　営業利益増減分析



（単位：百万円）

売上総利益　＋2,236

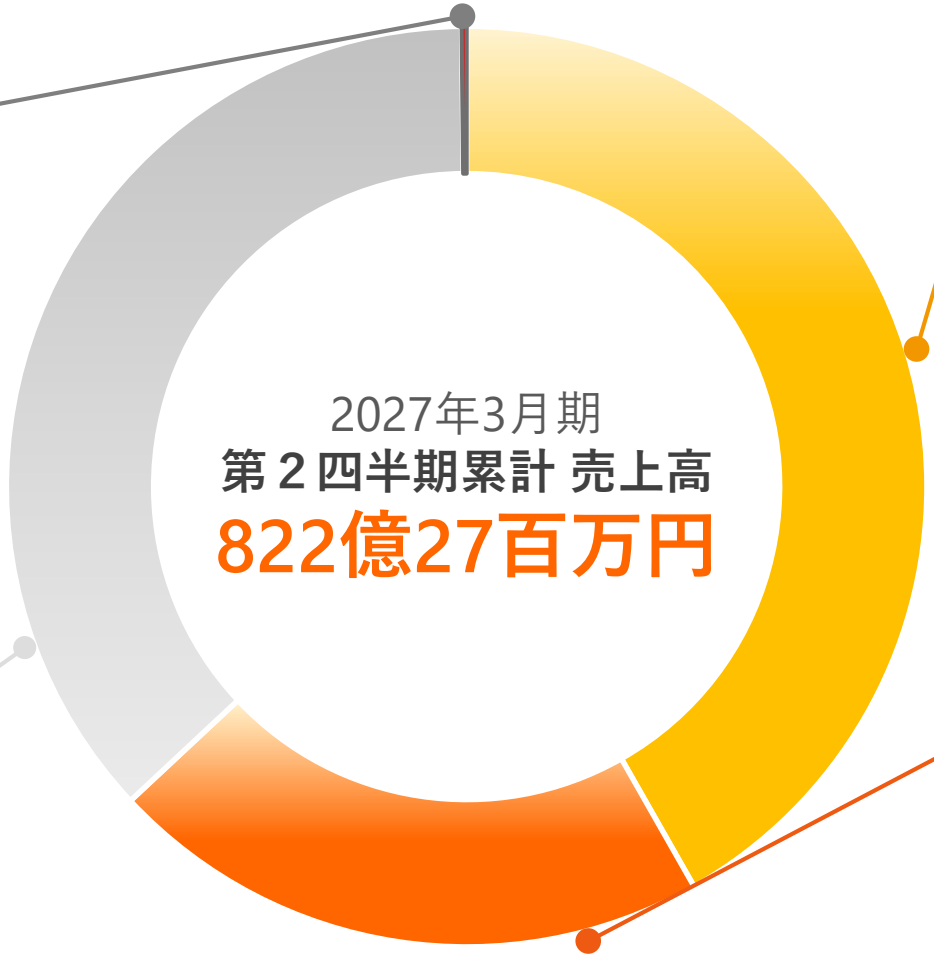
売上高の増加（14,947百万円増）により売上総利益が2,236百万円増加（粗利率15.1％は横ばい）

販管費　＋605

人件費234百万円の増加および一般経費370百万円の増加により、販管費が605百万円増加

© 2026 NICHIDEN Corporation

商品群別売上割合



その他

143 百万円
構成比 0.2%
前年同期比 △23.8%
・その他の機器・サービス 等

制御機器



30,248 百万円
構成比 36.8%
前年同期比 ＋34.1%
・サーボモータ、アクチュエータ
・センサ、スイッチ
・産業用ロボット
・油空圧機器、シーケンサ 等

動力伝導機器



34,346 百万円
構成比 41.7%
前年同期比 ＋22.7%
・減速機、変速機
・チェーン、ベルト伝導用品
・歯車、軸受・ベアリング
・直動機器 等

産業機器



17,489 百万円
構成比 21.3%
前年同期比 ＋5.8%
・コンベヤ、搬送システム
・産業用モータ
・運搬・昇降機器
・環境・集塵機器 等

© 2026 NICHIDEN Corporation

連結貸借対照表　資産の部

（単位：百万円）

		前期末	当第２四半期末	増減	主な増減理由・備考
流動資産	現金及び預金	17,447	15,969	△1,477	
	受取手形、売掛金及び契約資産	21,990	23,707	＋1,716	増収に伴い各売上債権が増加
	電子記録債権	22,029	25,104	＋3,075	
	有価証券	5,510	2,002	△3,507	譲渡性預金の減少30億円、運用債券の償還５億円
	商品及び製品	15,295	18,259	＋2,964	安定供給のための在庫確保
	貸倒引当金・その他	1,247	1,060	△187	
	合計	**83,519**	**86,102**	**＋2,583**	
固定資産	有形固定資産	22,448	23,490	＋1,042	蓮田物流センター、松本営業所等への設備投資
	無形固定資産	2,817	2,718	△99	
	投資その他の資産	18,853	20,556	＋1,702	保有有価証券の評価による増加
	合計	**44,119**	**46,765**	**＋2,645**	
資産合計		**127,639**	**132,868**	**＋5,228**	

© 2026 NICHIDEN Corporation

連結貸借対照表　負債、純資産の部

（単位：百万円）

		前期末	当第２四半期末	増減	主な増減理由・備考
流動負債	買掛金	14,568	14,925	＋356	
	電子記録債務	7,960	8,774	＋813	
	未払法人税等	1,328	2,116	＋787	
	賞与引当金	684	659	△25	
	その他流動負債	2,331	1,653	△677	
	合計	**26,873**	**28,128**	**＋1,255**	
固定負債合計		**8,868**	**9,519**	**＋651**	
負債合計		**35,742**	**37,648**	**＋1,906**	
純資産	資本金	5,368	5,368	－	
	資本剰余金	6,283	6,283	－	
	利益剰余金	72,333	75,219	＋2,885	
	自己株式	△1,358	△3,044	△1,686	自己株式の取得（60万株）
	株主資本合計	**82,627**	**83,826**	**＋1,199**	
	その他の包括利益累計額合計	9,270	11,392	＋2,122	有価証券評価差額金
	合計	**91,897**	**95,219**	**＋3,322**	
負債純資産合計		**127,639**	**132,868**	**＋5,228**	

© 2026 NICHIDEN Corporation

連結業績　貸借対照表

前期末（2026年3月末）

総資産：**127,639百万円**　自己資本比率：**72.0%**





＋5,228百万円

当第２四半期末（2026年9月末）

総資産：**132,868百万円**　自己資本比率：**71.7%**





（単位：百万円）

© 2026 NICHIDEN Corporation

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期	当第２四半期	キャッシュ・フローの主な増減要因
営業キャッシュ・フロー	3,962	△2,357	・税金等調整前中間純利益6,029百万円、減価償却費686百万円、仕入債務の増加1,799百万円 ・売上債権の増加5,103百万円、棚卸資産の増加2,972百万円、法人税等の支払1,282百万円
投資キャッシュ・フロー	△824	4,364	・有価証券の償還による収入4,000百万円、有形固定資産の売却による収入1,002百万円 ・投資有価証券の売却及び償還による収入1,197百万円、定期預金の払戻による収入744百万円 ・有形固定資産の取得による支出2,187百万円
フリーキャッシュ・フロー	3,137	2,006	
財務キャッシュ・フロー	△1,543	△3,011	・自己株式の取得による支出1,758百万円、配当金の支払1,034百万円
換算差額等	△70	92	
現金及び現金同等物増減額	1,523	△912	
現金及び現金同等物の期首残高	15,037	16,206	
現金及び現金同等物の期末残高	16,585	15,294	

© 2026 NICHIDEN Corporation

2027年３月期　連結業績予想（11/5修正）

（単位：百万円）

	2026年3月期（実績）	前回予想（7/31）	今回予想（11/5修正）	前期比	
				金額	増減率
売上高	141,033	160,000	**165,000**	＋23,966	＋17.0%
営業利益	6,622	8,400	**8,600**	＋1,977	＋29.9%
経常利益	7,465	9,000	**9,200**	＋1,734	＋23.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,114	6,100	**6,900**	＋1,785	＋34.9%
１株当たり当期純利益（円）	173.18	208.76	**236.71**	＋63.53	＋36.7%

- 中間期の実績が予想を上回ったことを踏まえ、通期予想を上方修正（売上高・各段階利益とも過去最高の見込み）
- 年間配当予想は120円（中間60円・期末60円）に変更はありません

© 2026 NICHIDEN Corporation

3

中期経営計画「*New Dedication2026*」進捗

Mid-term Management Plan "New Dedication 2026"

中期経営計画　重点施策・スローガン・経営基本方針

『New Dedication 2026』
～ 新たな貢献へ ～

1. 将来にわたり「なくてはならない企業・日伝」を目指す
2. お取引先様とともに「モノづくりの仕組み・産業の基盤」を支える
3. 「挑戦すること」・「やりきること」に拘る企業風土をつくる



中期経営計画　日伝の強み

日伝の価値創造モデル（強みの掛け合わせ）



500万点以上

取扱品目数（自動車・半導体・食品・電機など全産業を網羅）

約2,400社

国内仕入先（圧倒的な取引ネットワーク）

約4,000社

販売先（強固な信頼関係）

安定供給と迅速デリバリーを支えるロジスティクス網
全国43営業拠点、7 物流拠点、東・中・西部の各エリアで体制を確立

© 2026 NICHIDEN Corporation

中期経営計画　価値創造ストーリー

ソリューション事業
「モノ売り」から「コト売り」へ

ロイヤルカスタマー
創出と関係の深化

企業価値向上
ROE8.0%・PBR1倍超

提案力
顧客課題の把握・最適な提案

×

調達力
約2,400社の仕入先・全国の物流

人手不足×自動化技術
（FA・産業用ロボット・半導体）

構造的な労働力不足を背景にロボット・半導体市場が急拡大。
最適なトータルコーディネートを提案。

DX基盤『n/DESK』
全営業部門への導入率100％

10億円規模のDX戦略投資。グループ会社アペルザの技術を活用したAI業務支援システムを導入し提案ノウハウの組織共有と業務効率化を確立。

安定供給体制を確立し
「戦略的在庫」運用

需要予測に基づく計画的な「戦略的在庫」を保有。
ジャストインタイム供給体制を確立し機会損失の防止と高い顧客信頼を獲得。

© 2026 NICHIDEN Corporation

成長基盤①強固な物流インフラへの先行投資

安定供給を競争力へ変える物流基盤



物流投資額

第4次中計 物流投資額

50億円

2025年8月
熊本ロジス　開設

2026年8月
蓮田物流センター　開設

物流拠点の整備により、安定供給や迅速なデリバリーを支える体制を強化
今後も、物流機能を活かした顧客への提供価値の向上と、在庫の適正管理に取り組む

© 2026 NICHIDEN Corporation

成長基盤②競争性と資本効率を両立する「戦略的在庫」

在庫はコストではなく、顧客の生産活動を支え、販売機会の創出を実現する「攻めの戦略資産」

一般在庫

需要予測データに基づき
幅広いアイテムを最適な
在庫を保有

欠品防止と回転率
向上を両立

30億円の在庫を増強

**約2,400社の仕入先
ネットワークから調達した
多種多様な商品を
「戦略的に在庫」**

特定先向在庫

主要顧客との需給情報
連携により、過剰在庫
リスクを抑える

ジャストインタイム
供給を実現

「日伝に在庫があるから採用される」という独自の優位性を確立し、資産効率を管理

© 2026 NICHIDEN Corporation

4

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

Capital Cost and Stock Price Conscious Management

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状認識と中長期目標のギャップ

指標	現状認識（2026年3月期実績）	中長期目標
ROE	5.7%	8.0%の達成
PBR	0.77倍	1.0倍超の実現
資本コスト認識	4.9～6.5%	資本コストを上回る 十分な収益力の確保

課題　資本コスト水準付近の収益力。過去最高の売上・利益を達成するも市場評価（PBR1倍割れ）に至らず

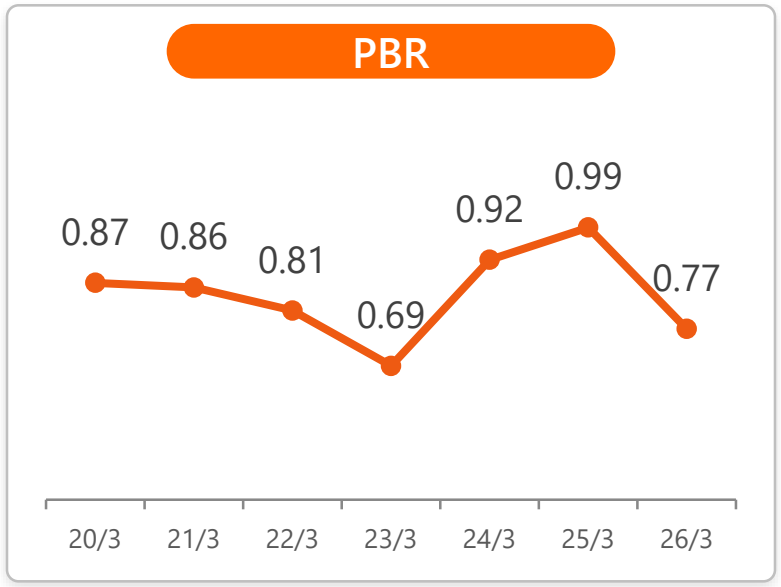
財務の健全性を維持しつつ、株主還元の充実と成長投資の継続により、資本効率の改善と市場評価の向上を目指します。

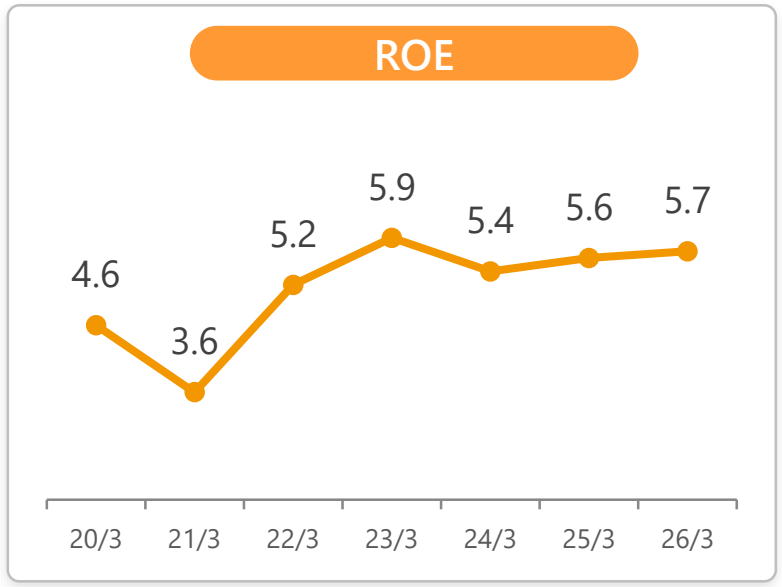
© 2026 NICHIDEN Corporation

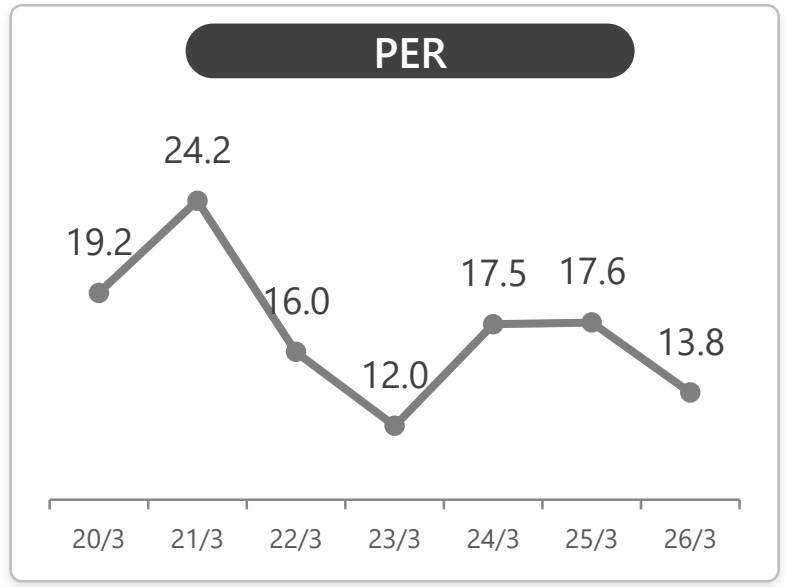
財務戦略と現状分析

企業価値の向上に向けた取り組み

- 一時的にPBR（株価純資産倍率）が1倍を超えるが継続的な反映には至らなかった
- 今後は、持続的な収益力確保と成長に向けた投資に力を入れながら中長期の事業戦略を「ストーリー」として描き、ステークホルダーへ開示
- 人事制度の見直しに伴う人件費の上昇を含む、販管費全般の増加に伴い、これらの費用負担を上回る業績の向上に努める







© 2026 NICHIDEN Corporation

現状認識

指標と改善項目			主な対応策	進捗概要
PBR	ROE	収益力	ソリューションビジネスの拡充・成長市場でのビジネス拡大	✓ アペルザDESKの導入による業務効率化 ✓ 体験型展示施設「＆N LABO」の設置 ✓ 熊本ロジスの稼働 ✓ 蓮田物流センターが2026年8月に稼働 ✓ 成長市場の需要を取り込み、通期営業利益予想を86億円に上方修正
		資本効率性	ＤＸの社内推進による業務効率化	
		投資戦略	効率的な在庫管理・戦略的な在庫の充実 蓮田物流センター等の設備投資（20億円） システム関係投資（5億円）、人財への投資	
	PER	成長期待	アペルザとの協業 自社物流機能の提供価値を創出	✓ 統合報告書2025・2026の発行、日経・東証IRフェアへの出展、投資家との対話 ✓ 株式の売出しを実施 ✓ 自己株式の取得、配当性向の見直し・増配を実施
		情報開示	サステナビリティ情報の充実、統合報告書の発行・投資家との対話	
		資本コスト	経営層による議論の深化、必要に応じた機動的な自己株式取得の検討	

© 2026 NICHIDEN Corporation

ＲＯＥ８％の達成に向けて

ROE 目標 8.0%

収益性の向上

売上高当期純利益率 3.6%からの改善

- 単品売りからコト売り（ソリューション）への進化
- n/DESK（DX）導入による1人当たり生産性の向上と業務効率化

資産効率の改善

総資産回転率 1.13からの改善

- データ連携に基づく「戦略的在庫」の回転率向上と運転資本の適正化
- 蓮田物流センター、熊本ロジス稼働による物流体制の強化と資本効率向上

財務レバレッジの最適化

最適な資本構成の探求

- 健全な財務基盤を維持し、成長投資余力を残しつつ、総還元性向を意識した自己株式取得と増配で株主資本をコントロール

利益成長・資産効率・資本政策を一体で動かし、ROE 8.0%を実現する

© 2026 NICHIDEN Corporation

企業価値向上に向けた経営層の取り組み

【資本コスト経営の実践と対話の深化】

- 外部有識者を交えた資本コストに関する経営層向け勉強会の実施
- エクイティストーリー構築に向けた経営層レビューの実施（計4回）
- 財務戦略・資本構成の最適化に向けた継続的な議論

【成長投資と資本効率の因果関係】

事業の強み（提案力×調達力）

↓

成長投資の実行
（物流拠点・DX基盤・人財育成）

↓

利益構造の転換
（ソリューション案件拡大、利益率向上）

↓

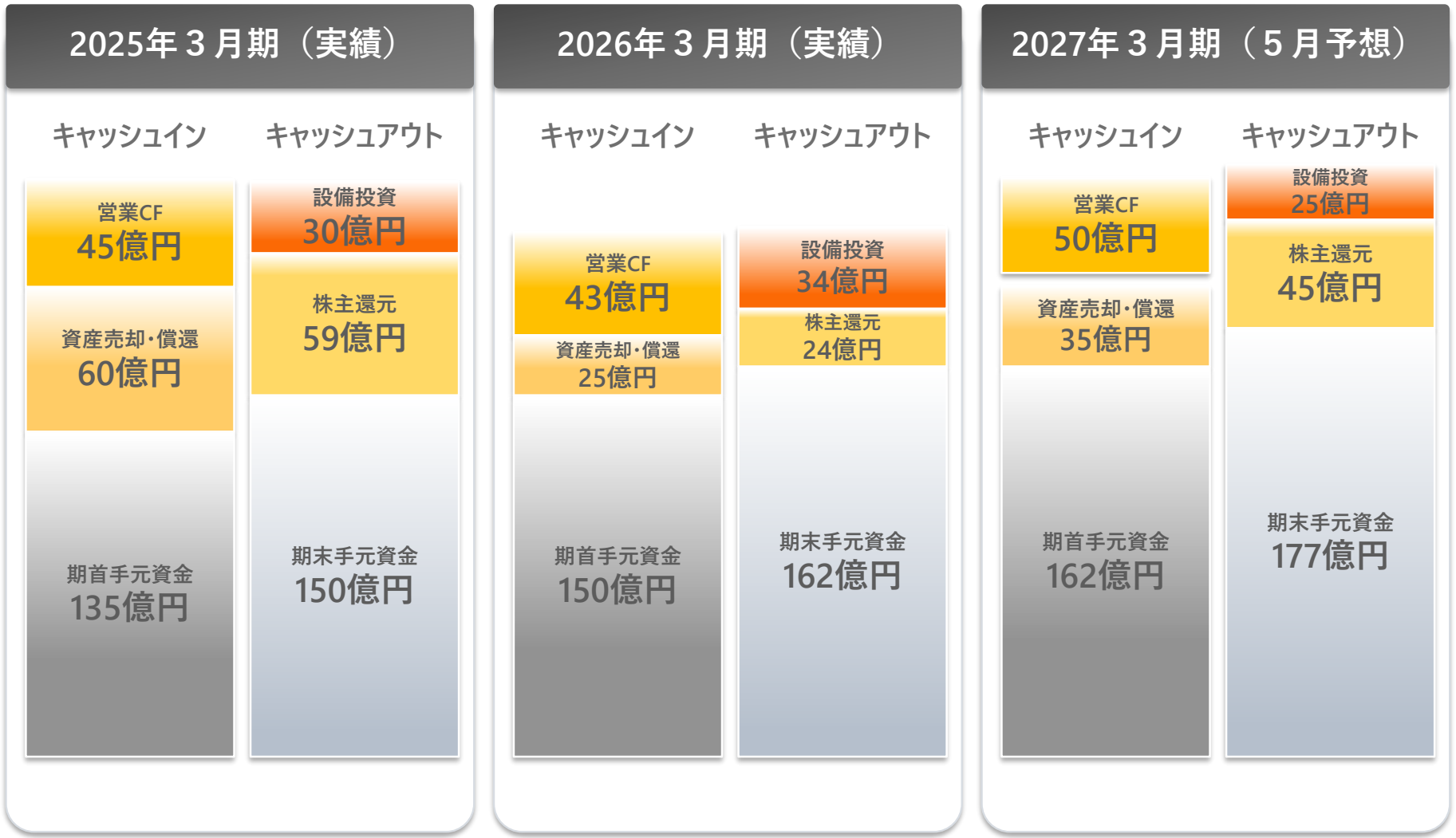
資本効率の向上（ROIC・ROE改善）

↓

市場評価の向上
（成長期待の獲得によるPER引き上げ・PBR改善）

© 2026 NICHIDEN Corporation

キャッシュアロケーション



営業CF 50億円

売上高の増加に伴う運転資金や戦略的在庫投資で20億円のキャッシュアウトながら増益を見込み50億円の営業CFを想定

資産売却･償還 35億円

運用資産の償還や政策保有株の売却で35億円のキャッシュインを見込む

設備投資 25億円

蓮田物流センターほか設備投資20億円、システム関係投資5億円を計画

株主還元 45億円

配当金25億円、自社株取得20億円を実施

© 2026 NICHIDEN Corporation

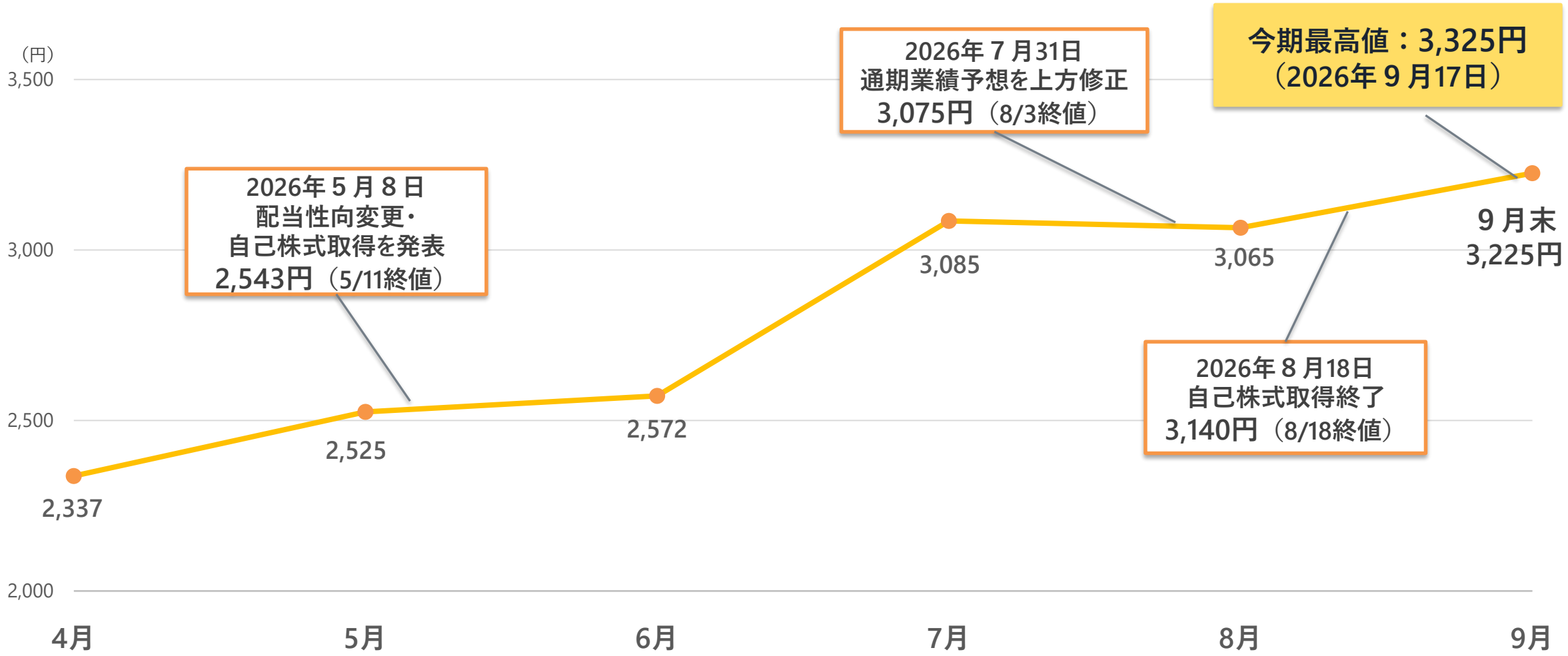
5

株主還元

Shareholder Returns

株価推移

2026年 株価推移
株主還元策や業績予想の上方修正などを背景に、株価は９月に今期の最高値を更新



© 2026 NICHIDEN Corporation

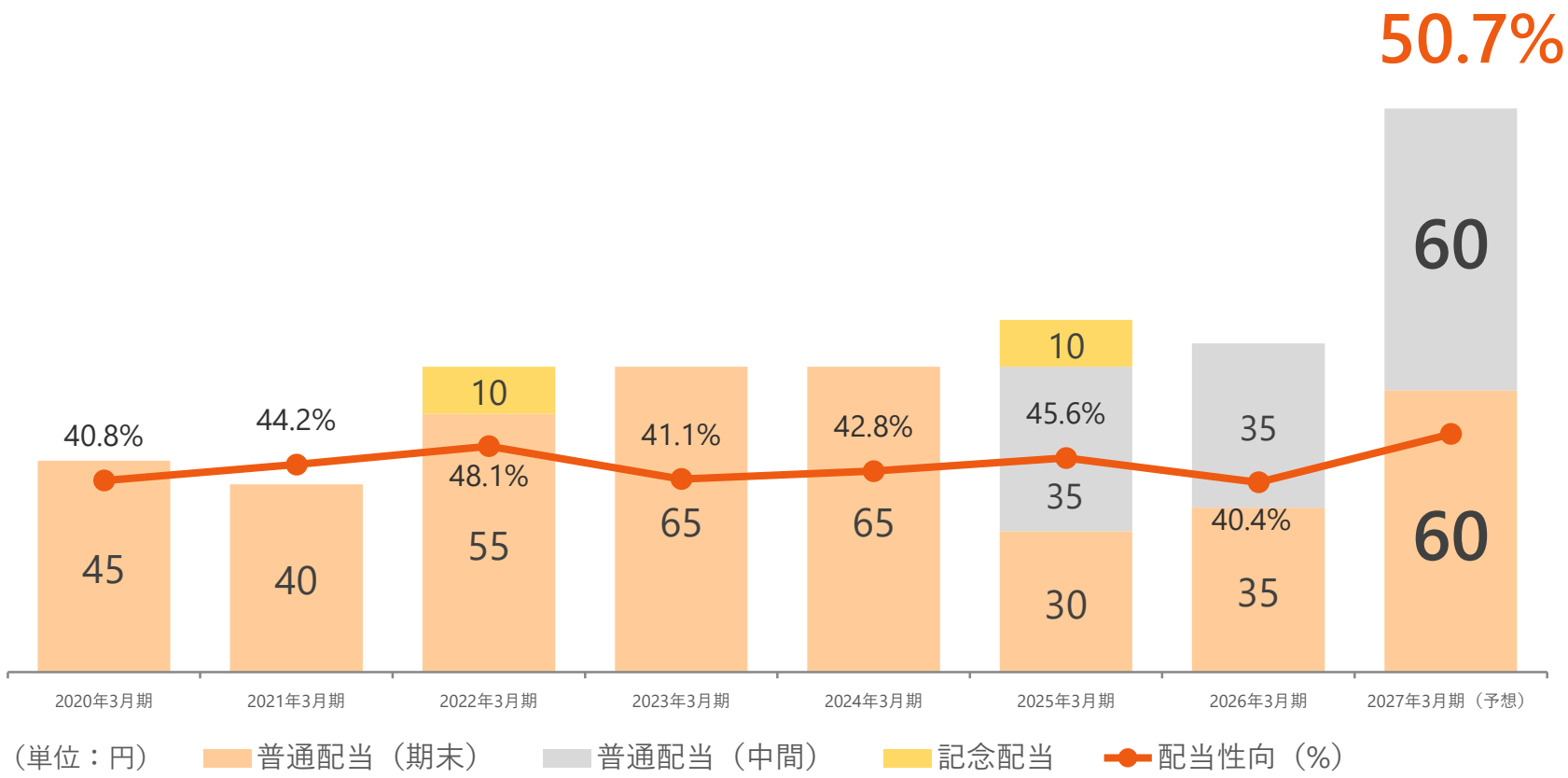
株主還元の充実・資本効率の向上

		変更前 株主還元方針	変更後 新株主還元方針
株主還元方針	配当性向	連結配当性向30％以上 1株当たりの配当金15円を下限	連結配当性向　**50％以上** ※一過性の損益を除く
	配当金	2026年3月期 中間35円　期末35円　年間70円	2027年３月期 中間60円　期末60円　**年間120円**（7/31修正） 当初予想：中間50円・期末50円・年間100円
	自己株式取得	必要に応じて機動的な 自己株式の取得	株式の総数　**60万株**（上限） 価格の総額　**20億円**（上限） 期間 2026年６月１日～2026年８月18日全取得完了 ※最終取得価格の総数は17億円となる

© 2026 NICHIDEN Corporation

配当の推移

- 連結配当性向は2020年３月期以降７年連続で40％以上を継続
- 2027年３月期は年間120円（中間60円・期末60円）、配当性向50.7％（予想）



配当予想の推移

中間50円
期末50円
年間100円

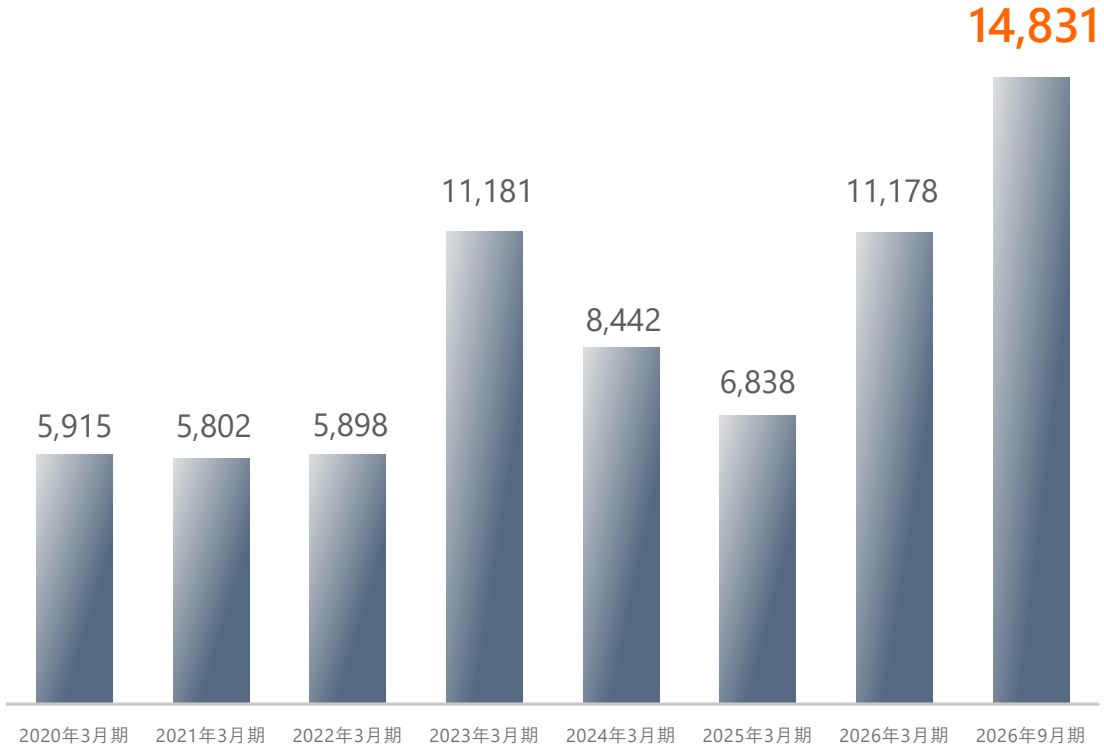
（7/31）修正

中間60円
期末60円
年間120円

© 2026 NICHIDEN Corporation

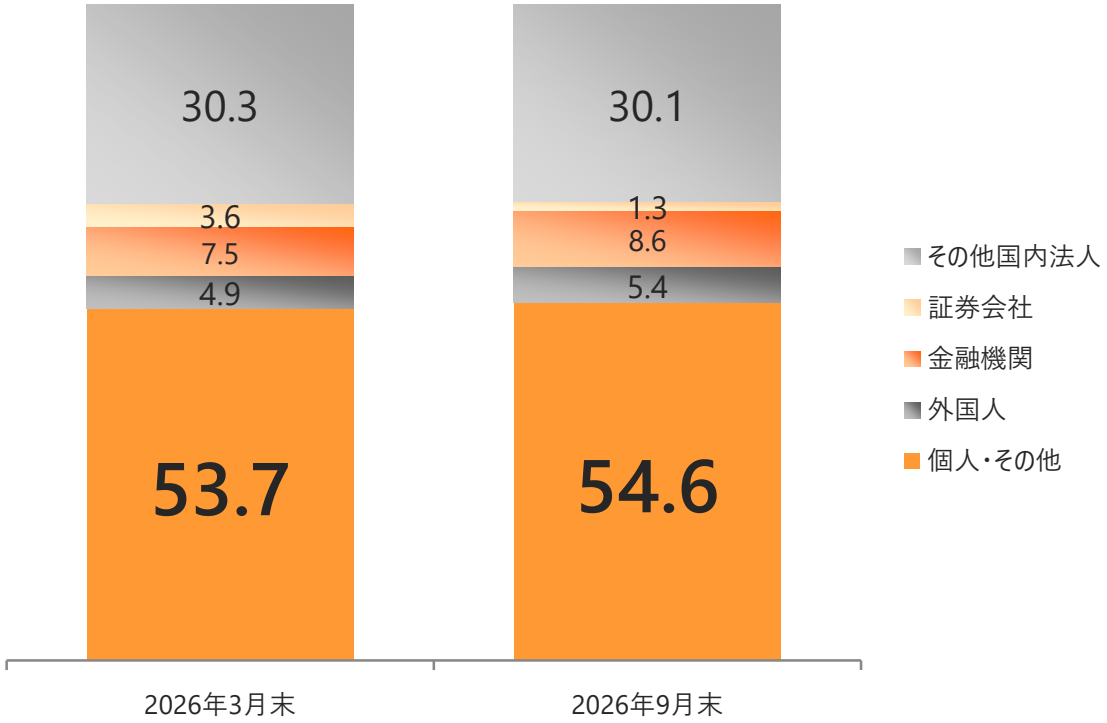
株主数推移・所有者別の保有割合

株主数推移（人）



2026年３月期比で
3,653人増加（約1.3倍）

所有者別の保有割合（%）



約半数が個人株主

© 2026 NICHIDEN Corporation

トピックス　広報活動（日経・東証ＩＲフェア）

日経・東証ＩＲフェアへの出展

2026年8月28日・29日に開催された
「**日経・東証ＩＲフェア2026**」に参加しました。

- 個人投資家向けIR活動も拡充しており、その一環として2026年８月に行われた国内最大級の個人投資家向けイベント「日経・東証ＩＲフェア」に2年連続出展
- その他の説明会、イベントにも積極的に出展しており、引き続き個人投資家向けIR活動にも注力

投資家の皆さまにご理解をいただけるよう、これまで以上に積極的かつ建設的な対話を重ねながら、事業ポートフォリオに基づいた成長戦略を確実に実行し、市場からの信頼と、評価の向上を目指します。





日経・東証
IRフェア2026





© 2026 NICHIDEN Corporation

株主優待制度

株主優待

3月31日基準（６月贈呈）※1年以上保有

100株以上1,000株未満

QUOカード2,000円

1,000株以上

QUOカード5,000円





9月30日基準（12月贈呈）

100株以上1,000株未満

さぬきうどん300g×３袋

1,000株以上

無洗米２kg詰め３パック





© 2026 NICHIDEN Corporation

会社概要

会社情報（2026年3月末時点）

社名（商号）	株式会社日伝
本社所在地	〒542-8588　大阪市中央区上本町西1-2-16
創業	1935年3月
設立	1952年1月
資本金	53億6,800万円
従業員数	928名（連結1,050名）
事業内容	動力伝導機器、産業機器、制御機器の販売を主な事業とし、 仕入先メーカーにより最新技術を駆使して開発される多種 多様な商品をはじめ、その先端技術情報を提供



© 2026 NICHIDEN Corporation

NICHIDEN

当資料は、あくまで株式会社日伝をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。
本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素によりこれら見通しと異なる結果となり得ることをご了承ください。
また、本資料およびデータの無断転用はご遠慮ください。